

問 グループホームの
建設経費は

答 次期計画で活用する

中山

第5期介護保険事業計画で決定していたグループホーム（18床）の建設を中止したが、現行の保険料には建設に必要な経費を組み込んで徴収していた。

中止の場合この経費をどのようにに処置するのか。また、入所を待ちこがれていた町民への対策は。

町長

計画時と比べ入居予定者が減ったために建設中止の判断をした。

保険料については変更せず、次期計画の中で財源として活用していく。

津野西庁住民福祉課長

入所を希望している10名程度の方への対策は、特養の活用など今国会で議論されている介護保険法改正の内容を十分に見つめながら対応していく。



グループホーム「ひのきの里」

問 介護保険事業の充実を

答 独自の予防事業を

中山

介護保険事業では財源不足から諸サービスの低下が懸念される。
弱者を思いやる姿勢を貫き、更なる予防事業の拡充が必要な現状を鑑み、町負

町長

担で財源不足を補っていくべきではないか。
介護保険事業は国、県、町、被保険者の負担割合が決まっており、サービス向上による増額分を町だけが負担することにはならない。
被保険者を増やさないと、予防事業に積極的に努め、いきいき元気な町となるよう津野町独自で総合的な施策に取り組んでいく。

問 光ケーブルの
運用開始は

答 NTTが説明会を

中山

光ケーブルが年末から利用できると聞いた。各地区別の時期、申請方法、費用等の啓発・周知は。

津野企画調整課長

NTTが4月より工事に

かから、9月頃から宣伝11月頃から募集する。
内容についてはNTTが東西両地区で説明会を開催。